

令和6年度 渋川小学校 学校だより

令和6年9月17日



# かしの木 第9号



## 残暑厳しい中でも、頑張っています

9月も中旬に入りますが、まだまだ暑い日が続いています。

学校では、暑さ指数をもとに、熱中症対策をしっかりと行いながら、日々の教育活動を進めています。

特に、外での活動、体育館の中での活動では、こまめな休息や水分補給等を行いながら、安全に学習ができるようにしています。



この暑さの中でも、子ども達は元気いっぱいです。

授業はもちろん、委員会活動やクラブ活動、行事、休み時間の過ごし方を見ている、元気いっぱい活動する姿が見られます。

今は、10月の学習発表会に向けての練習を少しずつ始めたところです。

子ども達は、劇や太鼓など、お家の人や地域の方々に学習の成果・練習の成果を見てもらえるように頑張っています。

感動の発表会へ向け、みんなで心一つに盛り上げていきたいと思います。



「お掃除がんばり賞」が6年生から手渡された場面です。  
温かく優しい雰囲気教室を包み、受賞者に笑顔があふれます。

## 5年生の見学学習の感想から ～コミュタンふくしまに行ってきました～

5年生の子ども達がコミュタンふくしまに行き、放射線について学習してきました。広島・長崎両県において「平和教育」が進められているのと同じように、福島県では、「放射線教育」が、福島に生きる者として今後も大事にしていかなければならない教育だと思います。



東日本大震災で避難をして、いまだに帰ってこれていないということにビックリした。自分に何ができるかを考えてみたい。  
(齋藤凜織さん)

大震災が起きて13年後の現状を知り、その時のこともよく分かった。自分の少しの行動で温暖化を止めるためになるということを学んだ。  
(加藤洸太さん)

3.11のことを調べるととても悲しくなる。今回、放射線のことを詳しく知り、たくさん学ぶことができた。(二階堂彩里咲さん)

地震で壊れた土地は回復することはとても難しいことが分かった。これから自分は3Rを意識して生活していきたい。  
(二階堂湊士さん)



## 〈渋川コミュニティ・スクール〉－祖父母参観お世話になりました－

9月13日（金）。たくさんのおじいちゃん、おばあちゃんが渋川小に来て下さいました。「祖父母参観」です。

朝から子ども達はどこかソワソワ。おじいちゃん、おばあちゃんが来てくれるのを今か今かと待っていました。

「やったあ！ 来た！」 そんな喜びの声も聞こえてきました。

先生方も張り切っていました。子ども達にこれまでの学習の成果を発表する機会を設けたり、一緒に活動の場面を取り入れたり、インタビューを企画したり…。

子ども達はもちろん、おじいちゃん、おばあちゃんの笑顔が学校いっぱいになり、「活気」（エネルギー）を感じました。

突然のインタビューも快く引き受けて下さいました。満足感いっぱいの子どもの表情が〇です！



協力しながら作業を進める姿。金づちを初めて使う学習でしたが、「上手！」「ここ、いいね！」と褒めてもらってどんどんと釘打ちが進みました。



やはり、「頑張る姿を見て、たくさんほめてもらえる」というのは嬉しいものです。

おじいちゃん、おばあちゃんに見守ってもらいながら、いつも以上に張り切って頑張る姿がとても微笑ましく見えました。

今後もこうした機会を大事にしながら、学校教育を進めていきたいと考えています。



「見て見て！」。1枚の折り紙がどんどん作品に仕上がっていきます。「すごいね」の一言に大満足です。

## 校長の独り言



来月、10月10日は目の愛護デー。

先日、養護教諭と本校の子ども達の健康課題について話をした。「最近、気になっているのは視力の低下ですね」。授業中、教室をまわってみても、確かにメガネをかけている児童が増えたような気がする。（やっぱりこれはパソコンやスマホ、ゲームの影響なのでしょうか…）

そんな折、ある子が気になった。（あれ？ メガネが必要なはずなのにメガネをかけていない。忘れたのかな？） さっそく声をかけてみた。

「見えるの？ メガネは？ かけた方がいいんじゃない？」 「大丈夫です。見えています」

「ほんとに？ ちゃんと校長先生の顔、見えてるの？」 「はい。かっこよく見えています」 「…」

（メガネがないからよく見えていないのに「かっこよく」って…。メガネをかけて、くっきり見えたら、どんな風に私の姿は映ってしまうのだろう…）

ちょっと複雑な思いをもちながら「うん、でもやっぱり、メガネ、かけた方がいいんじゃないかな…」と声をかけた。

そうは言ったものの、なんだか私の心の中はくっきりと見られているような気がした…。